

意見書案第 7 号

意 見 書 案 に つ い て

別紙、「国民への負担増をあらたに強いる「社会保障・税一体改革成案」に反対し、社会保障の充実・改善を求める意見書（案）」を議決されたく会議規則第 1 4 条の規定により提出します。

平成 2 3 年 1 2 月 2 1 日提出

加西市議会議長 森田博美 様

提出者	加西市議会議員	三宅 利弘
賛成者	〃	土本 昌幸
〃	〃	別府 直
〃	〃	長田 謙一
〃	〃	衣笠 利則
〃	〃	黒田 秀一
〃	〃	森元 清蔵

**国民への負担増をあらたに強いる「社会保障・税一体改革成案」に反対し、
社会保障の充実・改善を求める意見書（案）**

政府は、6月30日、「社会保障・税の一体改革成案」を発表した。

この「成案」は、「社会保障安定財源」を「消費税を主たる財源」にするとし、消費税を「社会保障目的税」とすることをうたい、「まずは、2010年代半ばまでに段階的に消費税を10%まで引き上げる」としている。このことは、際限のない消費税増税を意図したものにほかならない。

また「成案」は「年金財政持続可能の確保」のためとし、年金の支給開始年齢の引き上げと「デフレ経済下」での「マクロ経済スライド」を打ち出した。これでは高齢者の貧困化をいっそう促進し、地域経済を疲弊させることにつながる。

年金財政維持には、際限のない年金切り下げではなく、賃金を引き上げる経済運営で図るべきである。

以上、国民にさらなる負担を求める「社会保障・税の一体改革成案」を撤回すること。ならびに国民が安心して暮らせるように憲法25条にもとづく社会保障の充実をはかることを求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成 23 年 12 月 21 日

兵庫県加西市議会